



会報

No.45

2018年5月25日発行

発行/日本コンプライアンス・オフィサー協会 発行責任者/和田 新
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号 電話 (03) 3267-4826 ホームページ <http://jcoa.khk.co.jp/>

コンプライアンス・オフィサー認定試験 成績結果

去る3月4日(日)に実施いたしました第43回コンプライアンス・オフィサー認定試験の成績結果がまとまりましたのでご報告いたします。

● JAコンプライアンス3級

成績結果は〔表〕のとおりです。

応募者数1,943名中受験者は1,811名で、認定者は1,572名でした。認定率は86.80%、平均点は68.48点となっています。前回の認定率は89.43%でしたので、前回に引き続き良好な結果となっています。

正解率が30%を下回った問題は、〔問-18〕労働審判、〔問-25〕違法ダウンロード、〔問-30〕JAの子会社(会社法)、の3問でした。

今回も前回同様、新しい論点を交えつつも、通信講座テキストや問題解説集で過去問題を学習していれば対応できる問題が中心でした。低い正解

率となった問題はいずれも新しい論点のものが多く、過去出題されたことのあるテーマの問題では高めの正解率となっていました。このことから受験者の方々が通信講座テキストや問題解説集で過去問題をしっかり学習された結果、既出テーマで得点できている方が多かったため、今回のような高めの認定率になったと考えられます。ちなみに新しい論点としては、〔問-13〕内部統制、〔問-25〕違法ダウンロード、〔問-28〕農地の転用、〔問-34〕電子記録債権、です。

事業共通については、私法の一般原則、情報関連、経済関連法規、行政法規、労務関係法規といった幅広い知識が求められますが、通信講座や過去問題でしっかり学習していただきたいと思います。今後も、業務に活かしていただけるようなテーマでのコンプライアンスの問題を出題してまいります。

〔表〕 JAコンプライアンス3級 業態別成績一覧表

	都・ 特 銀 地	銀 信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数(名)	2	0	0	1	1	0	1,902	0	0	0	37	1,943
応募比率(%)	0.10	0.00	0.00	0.05	0.05	0.00	97.89	0.00	0.00	0.00	1.90	100.00
受験者数(名)	2	0	0	1	1	0	1,771	0	0	0	36	1,811
受験率(%)	100.00	0.00	0.00	100.00	100.00	0.00	93.11	0.00	0.00	0.00	97.30	93.21
認定者数(名)	2	0	0	1	1	0	1,532	0	0	0	36	1,572
認定率(%)	100.00	0.00	0.00	100.00	100.00	0.00	86.50	0.00	0.00	0.00	100.00	86.80
平均点(点)	75.00	0.00	0.00	74.00	68.00	0.00	68.37	0.00	0.00	0.00	73.83	68.48
年齢(歳)	35.0	0.0	0.0	21.0	28.0	0.0	41.0	0.0	0.0	0.0	37.7	40.9
勤続年数(年)	8.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	17.6	0.0	0.0	0.0	11.5	17.4

※ 認定基準は60点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。



連載

コンプライアンス雑記

Vol.3

コンプライアンスへの対応は新しいステージに



千葉真司

じもとホールディングス
リスク統括部長

「平成29事務年度 金融行政方針」では、コンプライアンスをリスク管理の一環として捉え、その高度化に向けた金融機関の自主的な努力を促しています。従来のコンプライアンス態勢は、総じて形式的・画一的であったことに加え、金融検査マニュアルや金融検査等での指摘を無批判に受け入れてきた結果、金融機関側の継ぎはぎ的なコンプライアンス対応が累積し、「コンプラ疲れ」が指摘されていました。

今後、金融検査マニュアルが廃止されるなかで、リスクベースとプリンシプルベースに基づいた機動的かつ実効的な対応が求められることになり、コンプライアンスへの対応は新しいステージに入ることになります。

まず、リスクベースの観点からは、組織に内在するリスクをみずから特定・評価し、改善に向けたPDCAサイクルをまわすなど、態勢のあり方

やプロセス、優先順位を『みずから考える』ことが求められます。

ここでいう態勢とは、改善・向上に向けた動的プロセスのことです。PDCAサイクルが止まった途端に新たなリスクが発生することに留意し、組織としての自浄能力を維持し続けることが必要となります。また、リスクは常に変化することから、組織的なリスク感応度を高めて、「何かおかしい」との気づきを大切にする環境づくりが不可欠です。その際、コンプライアンス環境は崩れやすいことにも留意してください。

次に、プリンシプルベースの観点からは、「何が大切なのか」、「何を優先すべきなのか」を常に意識するとともに、問題の本質に目を向け続ける姿勢が必要です。そのためにも、組織全体に『考えるコンプライアンス』を定着させ、くれぐれも思考停止に陥らないことが肝要となります。

以上のように、コンプライアンスはリスク管理の一環として捉えることが必要であり、リスクベース・アプローチはもとより、リスク管理が業務の効率性と一体の概念であることにも留意し、メリハリのある効率的な態勢構築が期待されます。

〔2018年10月実施〕コンプライアンス・オフィサー認定試験のご案内

実施日	願書受付期間	実施種目	出題形式	実施時間	受験料
第45回 2018年 10月28日(日)	2018年 8月21日(火) ～9月11日(火) 必着	金融コンプライアンス・オフィサー1級	記述式	13:30～16:30 (180分)	6,480円 (税込)
		金融コンプライアンス・オフィサー2級	四答択一マークシート式	10:00～12:30 (150分)	4,320円 (税込)
		保険コンプライアンス・オフィサー2級			